

市従労 NEWS

組合設立:1946年 組合本部所在地:〒921-8026 石川県金沢市糸田新町1-30

重要 Point ~趣味は「ドラマ鑑賞」☆東部管理の Big Boss 退職に向けて Message~



東部管理センター 中村 所長 温かく丁寧な御指導 3年間にわたり、有難う御座いました!!



中村所長が『好きな言葉』に挙げられた**「一隅(いちぐう)を照らす」**は、大きく何かを変えようとするのではなく、まずは目の前のこと(今自分にできること)を一生懸命にやる……ひとり一人が灯す**小さな光(努力)**がやがて**大きな光(成果・結果)**となる!! そういう人間を1人でも多く導きだし、職場環境も含めた**改善・改革**を3年間にわたり、粘り強く御尽力を頂いたのだと強く感じています。

また、我々には困難に決して挫けない**強い意志(気性)**で『**変わらないために変わり続ける!!**』思いを内に秘め、日々の職務に誇りを持ち続けながら日々進化する「住民ニーズ」にも責任を持って全うしてほしい……とも言っていました。これからの将来的な部分でも、環境分野に携わる以上は求められるものが多様化しつつも『**不変**』を貫く姿勢が大切であると受け取りました。

どうか定年を迎えられる最後の日まで、我々にとって「**大きな存在**」であり続けてほしいと強く願います。本当に有難う御座いました。 中村所長 お疲れ様でした。 執行部一同



昭和59年4月、金沢市職員として採用され、最初の研修の一環として、ごみの収集体験を行いました。同期が東西に分かれて、ということで私は西部班となり、雨の中、野田中周辺のごみを集めて回ったことが、今でも懐かしい思い出として色褪せません。

それから40年近くが経ち、金沢市職員としての最後の職場が、東部管理センターとなりました。始め良ければ終わり良く、終わり良ければすべて良し、という言葉がありますが、私の公務員人生は、まさにそのようなものであったと感慨無量です。

東部管理センターのある鳴和地区は、金沢桜丘高校出身の私にとっては、川口勲さんにとっての東金沢駅周辺ほどではありませんが、青春時代を過ごした思い出のある地であり、そこで高校生活と同じ3年間を、職員の皆様に支えていただき、勤務をさせていただいたことは、感謝に堪えません。

おかげさまで、自然に恵まれた立地条件のもと、ハラハラしながら燕の巣立ちを見守ったり、夏の朝には、網戸につかまったり、地面を歩いたりするカブトムシやクワガタの姿を目にして、それこそ何十年振りかにか童心に帰ることもできました。

改めて、この3年間を振り返りますと、雪の日、全く方向が違うのに車でわざわざ自宅まで送ってくれた加藤一実さんをはじめとして、本当に気のいい仲間に恵まれ、何一つとして不満のない、幸せな日々を過ごすことができました。

そうした訳で、楽しい思い出は、それこそ枚挙にいとまがありませんが、令和2年1月25・26日の2日間、事務室の皆様と姫路と神戸を旅行したことは、とても印象に残る出来事の一つです。

当時は、新型コロナウイルスによる国内感染例が屋形船などで見受けられ始めた頃であり、まさか今日のような事態に陥るとは夢にも思わず、中華街でウイルスをもらわないように、などと対岸の火事という自分たちとは全く無縁のものとして、軽口をたたいていました。いわば、コロナ前の最後の輝いた日々であったように思います。



裏を返せば、その後の2年間は、コロナ対策に腐心する毎日でした。

しかし、感染リスクの高い職場でありながら、今日まで環境局から誰一人として感染者を出していないのは、ひとえに職員一人ひとりの感染予防に向けた高い意識の賜物であり、皆様には心から感謝を申し上げます。

例えば、吉田慶太さんは、この2年間、大好きな趣味を封印し、家と職場の往復のみ、休日は一歩も外に出ないという徹底ぶりとのことであり、本当に頭が下がります。(笑)

こうして、繰り返しになりますが、皆様のご協力のおかげをもちまして、この春つつがなく定年を迎えることができそうです。できれば、その日までに柳瀬博範さんのサイン色紙をいただき、それを眺めながら、悠々自適な老後をご過ごせれば、と願っております。

本来ならば、お世話になった皆様お一人おひとりのお名前を記し感謝の気持ちを表したいところではございますが、長すぎる、いい加減にしる、と加藤さんのお許しがいただけませんので、以上をもちまして、この3年間の感謝の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

最後の最後になりますが、中尾豪さん、鈴木哲さん、よいお年を!

中村正夫

